

2 次案内

第 24 回

令和 7 年度 (2025)

世田谷算数夏季セミナー

「公式をつくる」って ということ？

日 時 令和 7 年 8 月 21 日 (木) 受付 12:40 ~ 13:00

時 程

受付	提案	授 業 (I)	授 業 (II)	研究協議会	指導・助言	
		難波 怜央 教諭	瀧藤 潤 教諭	難波 怜央 瀧藤 潤	藤井 斉亮 先生	
13:00	13:20	13:30	14:15	14:30	15:15	15:30
						16:15
						16:15
						16:55

場 所 東京学芸大学附属世田谷小学校 集会室

〒158-0081 東京都世田谷区深沢 4-10-1 03 (5706) 2131



資料代 1,000 円 ※ 当日、現金でお願いいたします。

本校 HP から事前申し込みをお願いいたします。

主 催

東京学芸大学附属世田谷小学校 算数研究部

内 容

世田谷区算数研究会 研究テーマ

数学的な見方・考え方を働かせて問題解決に取り組む児童の育成

本校 算数部 テーマ

算数を創造する子ども ～「自分で学びをデザインできる子どもの育成」へ向けて～

創造的な学習指導を通して 算数を創造する子どもを育成することが、算数科が「デザインの実践に向けて、文化・科学の叡智から世界の見方・考え方を広げ」それらを「デザイン実践の場で自由自在に使いこなす」子どもの実現に向けて担う役割である。

(1) 魅力ある教材を開発, 提示する

(2) 創造的な学習の過程を子どもが振り返るきっかけを設定する

世田谷算数夏季セミナー テーマ

「公式をつくる」って ということ？

公式に数値を入れて答えを求めることはできるが、公式や公式の言葉の意味（底辺、高さなど）、その関係についての理解に課題がある（H19,21 全国学力・学習状況調査）。公式を作る過程も含めた公式の意味理解を促すには、どのような指導が必要なのだろうか。

研究授業Ⅱ 第5学年「四角形と三角形の面積」

13 : 30～14 : 15

授業者 難波 怜央

平行四辺形の求積公式を作る授業を提案する。特に、高さに対する理解に児童の課題があることから、高さが図形の内部にない平行四辺形の面積の求め方を考えることを通して、高さに対する理解を深める、すなわち、平行四辺形の求積公式に対する理解を深める授業を提案する。

研究授業Ⅲ 第6学年「円の面積」

14 : 30～15 : 15

授業者 瀧藤 潤

円の求積公式を作る授業を提案する。特に、式を読むことに焦点を当て、構成要素との対応を考えたり、公式の意味（円の面積が半径を一辺とする正方形の面積の3.14倍であること）を捉えたりすることを通して、円の求積公式に対する理解を深める授業を提案する。さらに、作り上げた公式をもとに、関数関係を表しているという見方ができるようになることも目指す。

指導・講評 東京学芸大学 名誉教授 藤井 斉亮 先生

16 : 15～16 : 55